

第8章 文化財保護

第1節 文化財の指定と調査・保護

第2節 東北歴史博物館

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

第1節 文化財の指定と調査・保護

1 指定文化財

県内の国及び県指定の文化財は、次のとおりである。

第8-1表 平成22年度末文化財指定等件数

区分	種別	国指定			県指定	計	
		国宝・特別	重要文化財	計			
有形文化財	建造物	3	16	19	37	56	
	美術工芸品	美術		2	2	14	16
		彫刻		8	8	27	35
		工芸品		11	11	22	33
		書跡・典籍	2	3	5	20	25
		古文書・古碑		1	1		1
		考古資料		8	8	6	14
歴史資料	1	1	2	12	14		
無形文化財	工芸技術		1	1	2	3	
	その他				1	1	
民俗文化財	有形民俗文化財				4	4	
	無形民俗文化財	風俗慣習	4	4	9	13	
		民俗芸能	3	3	33	36	
		風俗慣習・民俗芸能			2	2	
記念物	史跡	1	33	34	15	49	
	史跡・名勝		1	1		1	
	名勝	1	3	4	2	6	
	天然記念物	1	26	27	31	58	
合計		9	121	130	237	367	
・選定文化財		(国選定)		(県選定)			
保存技術	選定保存技術	1				1	
・記録作成等の措置を講ずべき文化財		(国選択)		(県選択)			
無形民俗文化財	風俗慣習	4				4	
	民俗芸能	4				4	
・登録文化財		(国登録)					
有形文化財	建造物	84					
	美術工芸品	1					

2 文化財の調査・保護

(1) 埋蔵文化財の保護及び発掘調査等

ア 保護体制の整備

文化財保護体制の基礎は市町村にあるとの認識のもとに、市町村の体制の充実を図るため、次のような事業を実施した。市町村文化財担当者会議・研修会

- 平成22年5月20日
- 場所 東北歴史博物館
- 参加者 35市町村文化財担当者

イ 文化財保護管理指導事業

文化財保護地区指導員を県下市町村に各1人(仙台市:4人,大崎市:7人,加美町:3人,栗原市:10人,登米市:9人,気仙沼市2人,石巻市7人,南三陸町2人)委嘱し、国指定の重要文化財(建造物),史跡,名勝,天然記念物及び主たる埋蔵文化財包蔵地についてパトロールを実施し、関連して以下の研修会を開催した。この事業は昭和49年度から国庫補助事業として実施しているものである。

- (ア) 文化財保護地区指導員及び市町村文化財担当者会議
- 平成22年5月20日
- 場所 東北歴史博物館

○参加者 市町村担当者及び保護地区指導員

(イ) 市町村文化財担当者・文化財保護地区指導員研修講座

○月 日 平成22年10月20日

○会場 東北歴史博物館

○研修内容 講演「多賀城跡50年のあゆみ」

講師 宮城県芸術協会事務局長 白鳥 良一

○参加者 市町村担当者,保護地区指導員,文化財保護委員

ウ 基礎資料の整備

埋蔵文化財関係の基礎資料を整備し,その活用を図るため,遺跡台帳の整備充実に努めた。

エ 発掘調査

(ア) 平成22年度:埋蔵文化財発掘届等の件数(第8-2表参照)

- 調査のための発掘届(法92条第1項) 4件
- 土木工事に伴う届(法93条第1項) 727件
- 土木工事に伴う通知(法94条第1項) 289件
- 遺跡発見の届(法96条第1項) 0件
- 遺跡発見の通知(法97条第1項) 8件
- 教育委員会の発掘調査(法99条第1項) 313件
- 合計 1,341件

(イ) 国庫補助事業による詳細分布調査(県教委が主体もしくはは担当した調査)(第8-3表参照)

(ウ) 受託事業による調査(第8-3表参照)

(エ) 執行委任事業による調査(第8-3表参照)

(オ) その他の調査(第8-3表参照)

第8-2表 埋蔵文化財発掘届等件数

No.	市町村名	92	93	94	96	97	99	計
1	仙台市	1	304	57		2	67	431
2	白石市		16	4			12	32
3	角田市		2				1	3
4	七ヶ宿町		1					1
5	蔵王町		7	2		5	4	18
6	大河原町		3				2	5
7	村田町		2				3	5
8	柴田町		3	3			3	9
9	川崎町		1	1				2
10	丸森町		3	1			2	6
11	塩竈市		4	1			1	6
12	名取市		41	4			19	64
13	亘理町		6	7			7	20
14	山元町		7	3			9	19
15	岩沼市	1	4	2			6	13
16	松島町		11	3			4	18
17	多賀城市		75	29			30	134
18	七ヶ浜町		2	1				3
19	利府町		20	8			3	31
20	大和町		22	4			6	32
21	大郷町			2			1	3
22	富谷町		4				2	6
23	大衡村		1	1			1	3
24	大崎市		40	33			52	125
25	加美町	1	14	15			15	45
26	色麻町							
27	涌谷町		4				1	5
28	美里町		7	5			3	15
29	栗原市	1	64	70		1	33	169
30	登米市		15	13			6	34
31	石巻市		19	9			3	30
32	東松島市		7	2			5	14
33	女川町		4	5			3	12
34	気仙沼市		13	4			10	27
35	南三陸町		1					1
	合計	4	727	289		8	313	1341

平成22年度発掘調査遺跡一覧

受託契約による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	常磐自動車道建設	東日本高速道路株式会社	西石山原遺跡 山王B遺跡 浅生原遺跡 上宮前遺跡 北山神遺跡 内手遺跡 南山神B遺跡	山元町	発掘調査 確認調査	3,376 1,811 2,307 701 1,106 994 661	5月10日～12月9日 2月21日～3月11日	調査担当 縄文時代の堅穴住居跡9、掘立柱建物跡5、土抗30以上、土器埋設遺構1、製鉄炉1、近世以降の掘立柱建物跡9、溝跡、土抗など。縄文土器、石器、土師器、鉄洋、近世陶器など。
2	国道4号築館バイパス建設	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	大天馬遺跡 御駒堂遺跡	栗原市	確認調査	161 900	9月10日 10月20日～10月26日	調査担当 遺構・遺物なし。
3	三陸自動車道 本吉・気仙沼道路建設	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所	石川原遺跡 道貫館跡	気仙沼市	確認調査	150	11月1日～11月9日	調査担当 遺構・遺物なし。

執行委任による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	県営ほ場整備事業 田尻西部地区	宮城県 (北部地方振興事務所)	北小松遺跡ほか	大崎市	発掘調査 確認調査	9,085	4月26日～12月17日	調査担当 縄文時代晩期の掘立柱建物跡10以上、堅穴状遺構1、溝跡2、穴の墓5、遺物包含層など。縄文土器、石器、石製品、土製品、骨角器、木製品、動植物遺存体など。
2	広域営農団地農道整備事業 仙南2期地区	宮城県 (大河原地方振興事務所)	観音堂山遺跡	蔵王町	発掘調査	3,300	9月3日～10月15日	調査担当 古代の堅穴住居跡1、土抗1。土師器、須恵器など

国庫補助による調査

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	瑞巖寺本堂修理事業	瑞巖寺	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	34	5月31日～7月7日	調査担当 中世の溝跡1、切石列2、土抗など、近世の柱穴。縄文土器、土師器、須恵器、中世陶器、中世瓦、板碑など。
2	重要遺跡範囲確認	宮城県教育委員会	羽場遺跡	加美町	確認調査	53	10月4日～10月28日	調査担当 古代の土塁跡・堀跡など。須恵器など。

その他の調査(市町村協力)

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
1	町営住宅建替	女川町	浦宿尾田峯貝塚	女川町	確認調査	206	4月13日～4月15日	調査協力 縄文時代の遺物包含層、ピット。縄文土器、石器など
2	個人住宅新築	個人	中屋敷前遺跡	大河原町	確認調査	20	4月16日	調査協力 遺構・遺物なし。
3	環境整備及び法面整備	大郷町	鶴館遺跡	大郷町	発掘調査	270	4月19日～6月1日	調査協力 古墳時代の堅穴住居跡1、溝跡1、遺物包含層。土師器、須恵器、土製品など。
4	保育園建設用地造成	大和町	吉岡城跡	大和町	発掘調査	1,000	4月20日～4月27日 5月6日	調査協力 堀跡1、溝跡1、掘立柱建物跡3以上、土抗など。近世陶磁器など。
5	個人住宅兼店舗建替	個人	瑞巖寺境内遺跡	松島町	確認調査	17	6月7日	調査協力 遺構なし。近世陶器、近世瓦。
6	大畑沢特定緊急砂防事業	宮城県 (東部土木事務所)	大畑遺跡	登米市	確認調査	89	6月7日～6月8日	調査協力 遺構なし。縄文土器
7	都市計画道路建設	宮城県 (仙台土木事務所)	桜小路横穴墓群	亘理町	発掘調査	1,000	6月21日～10月6日	調査協力 横穴墓25。土師器、須恵器、鉄製品、石製品、ガラス玉など。
8	事務所新築	グロープエナジー株式会社	八幡堂後遺跡	柴田町	確認調査	15	7月1日	調査協力 遺構・遺物なし。
9	工業団地造成に伴う市道建設	登米市	大多古貝塚	登米市	確認調査	120	7月9日	調査協力 遺構なし。縄文土器、須恵器。
10	個人住宅新築	個人	観音堂裏遺跡	松島町	確認調査	15	7月20日	調査協力 遺構・遺物なし。
11	老人ホーム建設	社会福祉法人恵泉会	保呂羽館跡	登米市	確認調査	55	8月5日	調査協力 遺構・遺物なし。
12	常磐自動車道建設	東日本高速道路株式会社	谷原遺跡	山元町	発掘調査	1,500	8月16日～9月3日	調査協力 古代の堅穴住居跡、中世の掘立柱建物跡、井戸跡、土抗など。縄文土器、土師器、須恵器、中世陶器、石器、鉄製品など
13	源光町田線都市計画道路	宮城県 (北部土木事務所)	原田遺跡	栗原市	確認調査	163	8月23日～8月25日	調査協力 古代の堅穴住居跡、溝跡、土抗など。遺物なし。
14	集合住宅新築	個人	母子沢遺跡	塩竈市	確認調査	133	8月30日～31日	調査協力 井戸跡、溝跡など。瓦、近世磁器。
15	社員寮・駐車場建設	東北電力	十二神遺跡	女川町	確認調査	120	9月22日	調査協力 遺構・遺物なし。
16	観光物産交流館新築	柴田町	船岡館跡	柴田町	確認調査	104	10月7日	調査協力 遺構・遺物なし。
17	町営住宅建替	女川町	浦宿C遺跡	女川町	確認調査	563	11月1日～11月9日	調査協力 縄文時代の遺物包含層。縄文土器、石器、動植物遺体。
18	重要遺跡範囲確認	亘理町教育委員会	三十三間堂官衙遺跡	亘理町	確認調査	200	11月10日～12月9日	調査協力 堅穴住居跡、溝跡など。土師器、須恵器など。

No.	事業名	事業主体	遺跡名	所在地	調査種別	発掘面積 (㎡)	調査期間	主な発見遺構
19	老人ホーム建設	株式会社コスモ測量	新開遺跡	大河原町	確認調査	50	11月16日	調査協力 遺構・遺物なし。
20	市道改良工事	気仙沼市	長磯浜遺跡	気仙沼市	発掘調査	200	11月18日～26日	調査協力 縄文時代の遺物包含層、土抗など。縄文土器、石器など。
21	公園園路整備	柴田町	船岡館跡	柴田町	確認調査	7	12月2日	調査協力 遺構・遺物なし。
22	県営ほ場整備事業 城下地区	宮城県 (北部地方振興事務所)	城下遺跡	栗原市	発掘調査	2,800	12月2日～12月9日	調査協力 古代の堅穴住居跡、中世～近世の掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡、土抗など。土師器、須恵器、中世陶器、近世陶磁器、鉄製品など。
23	診療所建設	登米市	寺池館跡	登米市	発掘調査	325	12月7日	調査協力 遺構・遺物なし。
24	工業団地造成	登米市	大多古貝塚	登米市	確認調査	29	1月18日	調査協力 遺構なし。縄文土器。
25	排水路改修	王城寺原補償工事事務所	四反田遺跡	大衡村	確認調査	80	2月3日	調査協力 遺構・遺物なし。
26	個人住宅新築	個人	西の浜貝塚	松島町	確認調査	29	2月7日	調査協力 遺構・遺物なし。
27	工場団地造成	土地区画整理組合	兵六館跡ほか	富谷町	確認調査	923	2月2日～3月11日	調査協力 古代の堅穴住居跡、中世の掘立柱建物跡、土抗など。土師器、須恵器など。
28	市道改良	登米市	吉田遺跡	登米市	確認調査	60	2月3日	調査協力 遺構・遺物なし。
29	国道113号線自歩道整備	大河原土木事務所	卯月沢遺跡	丸森町	確認調査	170	2月3日～2月4日	調査協力 古代の堅穴住居跡6、柱列2、井戸跡など。土師器。
30	携帯電話無線基地局建設	ソフトバンクモバイル	火打石遺跡	丸森町	確認調査	3	2月22日	調査協力 遺構・遺物なし。

オ 報告書の刊行

刊行年月日	報告書名
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第222集「鍛冶沢遺跡ほか」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第223集「北小松遺跡ほか」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第224集「一里塚遺跡」
2010 (平成22年3月)	宮城県文化財調査報告書第225集「壇の越遺跡・早風遺跡ほか」

(2) 文化財の保護

- ア 史跡名勝天然記念物に対する現状変更件数については、次表のとおりである。(第8-4表参照)
- イ 銃砲刀剣類の審査と登録
登録審査会を6回開催し、美術的価値のある銃砲刀剣類の登録を行った。(第8-5表参照)

- ウ 第52回北海道・東北ブロック民俗芸能大会
平成22年10月31日(日)に福島県福島市を会場に開催され、本県から1団体(浪板虎舞(気仙沼市))が出演した。

第8-4表 史跡・名勝等の現状変更件数

種別	名称	年度							
		15	16	17	18	19	20	21	22
特別名勝	松島	131	118	88	88	139	135	198	155
特別史跡	多賀城跡附寺跡	10	9	9	10	18	11	8	13
その他		21	35	42	18	38	31	30	22
計		162	162	139	116	195	177	236	190

第8-5表 銃砲刀剣類の登録件数

種類	たち	刀	わきざし	短刀	剣	やり	なぎなた	その他	火なわ式銃砲	火打石式銃砲	ピン打式銃砲	計
件数	4	66	55	21	0	7	1	0	6	1	0	161

3 文化財保護事業に対する助成等

(1) 国庫補助事業

本年度国庫補助事業として実施したものは次のとおりである。

第8-6表 平成22年度国庫補助事業 (単位：千円)

事業名	事業者	総事業費	内訳			
			国庫補助金	県補助金	市町村費	所有者負担金等
多賀城跡附寺跡買上げ(直接買上げ)	多賀城市	250,000	200,000	8,000	42,000	-
町内遺跡発掘調査等	加美町	2,001	1,000	-	1,001	-
市内遺跡発掘調査等	栗原市	3,005	1,500	-	1,505	-
市内遺跡発掘調査等	白石市	2,007	1,000	-	1,007	-
重要文化財我妻家住宅主屋ほか4棟保存修理	我妻信雄	4,910	4,173	175	343	219
重要文化財洞口家住宅附門及び馬屋保存修理	洞口京一	12,827	10,902	481	1,346	98

事業名	事業者	総事業費	内 訳			所有者負担金等
			国庫補助金	県補助金	市町村費	
瑞巖寺本堂等建造物保存修理	瑞巖寺	177,750	106,650	17,775	5,000	48,325
山王圀遺跡史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業	栗原市	30,005	15,000	3,000	12,005	-
国有文化財多賀城跡附寺跡管理事業	多賀城市	209	166	-	43	-
第57回日本伝統工芸展仙台展	日本伝統工芸展仙台展実行委員会	3,122	1,496	-	-	1,626
選定保存技術(石盤葺)伝承	佐々木信平	1,114	1,106	-	-	8
仙台郡山官衙遺跡群買上げ(直接買上げ)	仙台市	215,742	60,080	-	155,662	-
仙台郡山官衙遺跡群買上げ(先行取得償還)	仙台市	3,300	2,639	-	661	-
陸奥国分寺跡買上げ(先行取得償還)	仙台市	712,521	570,012	-	142,509	-
陸奥国分寺跡買上げ(先行取得償還)	仙台市	12,309	9,846	-	2,463	-
伊治城跡買上げ(直接買上げ)	栗原市	46,505	37,200	-	9,305	-
多賀城跡附寺跡保存修理	宮城県	7,990	3,994	3,996	-	-
特別天然記念物カモシカ食害対策	宮城県	1,610	1,072	538	-	-
指定文化財管理	宮城県	4,580	2,290	2,290	-	-
合計		1,491,507	1,030,126	36,255	374,850	50,276

(2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業

南奥羽山系カモシカ保護地域におけるカモシカの生息動向・生息環境・食害発生状況などのカモシカ保護対策に関する調査を実施した。

(3) 県費補助事業

本年度県費補助事業として実施したものは、次のとおりである。

第8-7表

平成22年度県費補助事業

(単位：千円)

補助事業名	補助金交付先	補助金額	備 考
有形文化財保存事業補助	清海曼茶羅図保存修理	2,167	補助率 事業費の50%以内
無形文化財・無形民俗文化財等保存事業補助	無形文化財保持者及び保持団体 新田柳心館 他 1個人	280	補助率 定額(140千円)
	無形民俗文化財保存団体 湯元田植踊保存会 他47団体	1,440	補助率 定額(30千円)
史跡等環境整備事業補助	天然記念物東陽寺のイチョウ保存修理	1,260	補助率 事業費の50%以内

第2節 東北歴史博物館

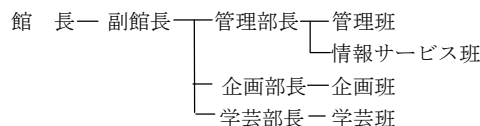
1 概要

東北歴史博物館は、宮城の地を拠点に東北全体の歴史及び文化を総合的にとらえ、その特色を世界に発信することを目的とした人文系博物館であり、誰もが気軽に学ぶことができる施設である。

企画展示、教育普及、調査研究及び歴史資料収集管理などの主要事業を積極的に行なった。

2 組織と予算

(1) 組織



(2) 予算

(決算)

項目	金額(千円)
管理経費	220,976
企画展示費	21,048
教育普及費	2,841
調査研究費	1,245
資料管理費	3,719
合計	249,829

3 事業

(1) 企画展示事業

ア 常設展示

総合展示室において、約3万年前の後期旧石器時代から1965(昭和40)年頃までの東北地方全体の歴史及び文化について、庶民の視点を重視しながらそれぞれの時代を特色づけるテーマを取り上げた課題展示を行っている。重要文化財を含む実物資料約1400点の展示及び当時の様子を復元したジオラマ、イラストや地図・写真を使ったパネル、レーザーディスク等の映像装置、解説文パネルを適宜配置してわかりやすい展示を目指している。

テーマ展示室において、展示室1で「郷土玩具の世界」「カマ神」を、展示室2で「骨角器の世界」「杉山コレクション 埴輪」を展示した。また、展示室3では「宮城の文化-高僧たちの墨蹟-」をはじめ8回の展示替えを行なった。

イ 特別展示

・特別展「絵画にみる江戸時代のみやぎ」

会 期：平成22年4月24日～6月6日(38日間)

関連企画：紅花染め体験

観覧者数：3,678人

- ・特別展「しごとと道具 いまむかし
ーおとなになったらナニになる?ー」
会 期：平成 22 年 6 月 26 日～8 月 22 日 (50 日間)
関連行事：その道のプロの技にチャレンジしよう
観覧者数：9,073 人
- ・特別展 特別史跡多賀城跡発掘調査 50 周年記念特別展
「多賀城・大宰府と古代の都」
会 期：平成 22 年 9 月 4～10 月 24 日 (44 日間)
関連行事：
a, 記念講演会「大宰府と多賀城」
講 師 東京大学大学院人文社会系研究科教授
佐藤 信氏
期 日 平成 22 年 9 月 5 日
b, 記念シンポジウム「多賀城と大宰府」
基調報告 「大宰府発掘の最前線」
九州歴史資料館 杉原敏之氏
「多賀城発掘の最前線」
多賀城跡調査研究所 吉野 武氏
コーディネーター 東北大学名誉教授 今泉隆雄氏
パネリスト 進藤秋輝氏 (前東北歴史博物館長)
佐藤信氏 杉原敏之氏 吉野武氏
期 日 平成 22 年 9 月 5 日
c, 展示解説会 全 7 回
期 日 期間中の毎週日曜日 各回午前 11 時～
d, 多賀城跡巡り 全 7 回
期 日 期間中の毎週日曜日 各回午後 1 時～
観覧者数：7,915 人

(2) 教育普及事業

- ア こども歴史館の運営
利用者数 27,427人 (小・中学校・高校の利用数 延べ275校)
体験企画 (解説員主催)：
「お正月遊びだピョン！」
「切り絵で古代の形を楽しもう！」
- イ 図書情報室の運営 利用者数 3,582人
- ウ 今野家住宅の運営 利用者数 24,914人
- エ 講座等の行事

行 事 名	回数	参加数 (人)	備 考
館長講座	6	1,037	テーマ「古代みやぎの神社」
博物館講座	25	1,089	古文書, 史料講読, 民俗芸能等
体験教室	16	409	縄文土器, 勾玉作り等
多賀城跡巡り	9	36	毎月2回 (4月～10月)
民話を聞く会	6	222	多賀城, 利府民話の会と共催
体験イベント	3	4,701	春・秋・冬の年3回開催

- オ 平成22年度「ふるさとの民話を語り継ぐ」
(文化庁「美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業」
総参加者数 872 名)

- ① 民話にふれよう
期 日 平成 22 年 10 月 10 日
話 者 多賀城民話の会会員
利府民話の会会員
- ② 民話を学ぼう
期 日 平成 22 年 11 月 7 日・14 日・21 日・28 日
講 師 多賀城民話の会会員
利府民話の会会員
- ③ 民話を聞こう
講演会 「民話を学ぶ」
講 師 山形文教大学短期大学部名誉教授
武田 正氏

- 期 日 平成23年1月16日
- カ (財) 宮城県文化財保護協会と共催
宮城の鹿踊上演会 参加者数 250名
出 演 早稲谷鹿踊, 福岡の鹿踊・剣舞
期 日 平成23年3月6日

- ク 広報と刊行物
特別展図録『絵画にみる江戸時代のみやぎ』
特別展図録『多賀城・大宰府と古代の都』
『東北歴史博物館 平成21年度年報』
『東北歴史博物館研究紀要12』
『催事カレンダー (4月～7月, 8月～11月, 12月～3月)』

(3) 調査研究事業

東北地方の歴史・文化に関連する考古資料・民俗資料・文書資料・美術工芸資料及び建造物資料について調査研究を行い、その成果を研究紀要・展示解説書等の刊行物を通じて公表した。

ア 考古資料の調査研究

興野コレクションを中心に縄文土器 28 点の復元と、楠本コレクションの骨角器 96 点について写真撮影を行った。また、県文化財保護課の移管資料と里浜貝塚資料 19,310 件について、情報システムへの登録・更新作業を行った。さらに、館蔵資料および展示借用資料を中心に写真撮影を行い、132 点を情報システムに登録した。

特別展「多賀城・大宰府と古代の都」の展示資料を中心に、新たに 18 件のデータ登録と 4 件の更新作業を行い、ホームページ上に追加公開した。

宮城県大崎平野から石巻海岸平野にかけての地域 (古代の黒川以北十郡域) に、8 世紀を中心に設置された城柵・郡家関連遺跡の外郭線を確認する分布調査を行なった。

イ 民俗資料の調査研究

長年にわたり東北地方の民俗芸能を研究してきた千葉雄市氏の調査資料一式の整理を昨年度に引き続き行った。同氏の資料は、書籍、調査ファイル等、写真、VHSテープ、カセットテープ、レコード等約 7,000 点からなる。また、あらたに寄贈を受けた仙台筆関係資料 (小村家資料) の整理を行った。小村家資料は、製筆用具・江戸時代の資料等 3,309 点からなる。

東北地方信仰伝承の調査研究として本年度は仙台市太白区秋保町での調査を実施した。

文化庁支援事業として南部神楽活性化事業を実施し、調査は栗原郡を中心に行った。しかし、事業の一環として予定した上演会、体験会は震災のため中止にした。

ウ 文書資料の調査研究

新規収集文書については、「松島町大宮司家資料」などの整理を行い、寄贈を受けた。県図書館移管文書については、「保呂羽村役場文書」の整理を行い、目録を作成した。

館蔵資料の資料保存と公開促進の目的で、県図書館移管文書のうち、「保呂羽村役場文書」のマイクロフィルム化を行った。

宮城県沖地震等に対する文化財の震災対策に関する調査等を行った。また、宮城歴史資料保全ネットワークを通じて、所蔵者から資料の保全に関する要請のあった歴史資料の受け入れ等を行った。

エ 美術工芸資料の調査研究

仏教文化及び美術に関する調査研究として栗原市、登米市、大崎市、東松島市及び角田市、岩手県盛岡市周辺、福島県会津地域等の信仰拠点の調査を行い、データを整備した。その成果の一部はオープン講座等において公開した。

東北の近世絵画に関する調査研究として、館蔵の「松島図屏風」及び「松島真景図」等について、描かれる景観及び名所を中心に、併せて宮城・東北を描いた真景図についての調

査研究を行った。その成果の一部は特別展「絵画にみる江戸時代のみやぎ」において公開した。

オ 建造物資料の調査研究

宮城県内の歴史的建築物とその庭園について、住宅庭園の地割りなど建築史及び造園史について調査を行った。調査対象は、仙台市旧良寛院庭園、丸森町斎理屋敷、福島市御倉邸・旧佐久間邸、伊達市旧亀岡家住宅である。

また、農村漁村の自然環境と日本古来の伝統的建築物の織りなす景観について、一関市本寺地区、奥州市水沢地区の現地調査を行った。

(4) 資料管理事業

歴史資料・文書資料・民俗資料等を収集し保存及び管理を行い、展示・閲覧・貸出・調査研究などの活用に資する。

ア 実物資料

考古・民俗・文書・美術工芸・建築・歴史の各資料分野にわたって、約7万件を超える資料を収蔵している。

資料の館外貸出は34件640点であった。寄贈資料は、製筆関係資料3,309点、伝多賀城跡出土の平瓦2点、観光・鉄道関係資料119点、測量・製図関係資料・ガラス乾板298点、消防団関係資料10点、文書・歴史資料（松島町大宮司家資料）2,078点など、計6,460点であった。また、仙台地方検察庁からの引継資料として火縄銃1挺、県図書館からの移管資料として角田石川文書など28群がある。

イ 写真資料

収蔵実物資料を撮影したもの等を中心とした写真資料についてフィルムやプリントの形態で約67,000件を収蔵している。今年度の写真資料等の貸出及び再掲載申込は、95件582点であった。

ウ 図書資料

当館が所蔵している図書資料の総数は約105,000冊で、そのうち約8,000冊を図書情報室で開架し、来館者が自由に閲覧できるようにしている。また、収蔵図書資料の目録は、当館ホームページで公開している。

エ 科学的保存処理

県内の遺跡から出土した脆弱な資料について、「埋蔵文化財出土遺物の保存処理」として国庫補助を受け、本年度は、漆器や曲げ物などの木製品142点、刀子や鉄釘などの金属製品60点などの保存処理を行った。

オ 保存環境管理・調査

資料の保存処理及び収蔵庫・展示室の保存環境に関する調査を行い、資料の保全に努めた。また、収蔵庫内の木質から発生する酸・アルカリなどの成分が資料に与える影響について継続的に調査している。このほか、歴史資料の虫やカビの被害対策として実態を調査し、個別燻蒸消毒を行った。

また、県内外の諸機関から文化財の保存環境についての問い合わせに対応した。

(参考資料) 第8-8表

平成22年度東北歴史博物館入館者数

月区分	開館日数	入館者数(人)
4月	26	10,807
5月	26	11,526
6月	26	18,081
7月	27	11,212
8月	26	12,137
9月	28	13,165
10月	28	18,381
11月	25	7,940
12月	24	4,003
1月	23	3,419
2月	16	4,271
3月	10	1,344
計	285	116,385

第3節 宮城県多賀城跡調査研究所

多賀城跡は奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれ、奈良時代には鎮守府も併置されていた役所の跡である。規模は約900m四方で、多賀城市市川のほぼ全域と浮島の一部に及んでいる。また、多賀城跡の南東約1.2kmの多賀城市高崎には多賀城の付属寺院である多賀城廃寺跡がある。これらは大正11年に史跡に指定され、さらに昭和41年には特別史跡に昇格指定された。昭和30年代後半からの急激な諸開発の波は多賀城跡の周辺にも及び、平城宮跡や大宰府跡と並んで国の三大史跡とされるほどの重要な文化遺産である多賀城跡も破壊されてしまう恐れが生じてきた。そこで、宮城県教育委員会は昭和44年4月に宮城県多賀城跡調査研究所を設置し、多賀城跡の解明と保存を目的とする発掘調査、およびその成果に基づく環境整備とを計画的に実施することにした。

1 事業内容と目的

当研究所の事業内容と目的は以下のとおりである。

(1) 多賀城跡発掘調査事業

特別史跡多賀城跡附寺跡の発掘調査を実施し、古代の多賀城の実態を解明し、あわせて環境整備のための資料を得る。

(2) 多賀城跡環境整備事業

発掘調査の成果をもとに多賀城跡附寺跡の遺構について、保存措置を講じるとともに、復元表示などの環境整備を行い、歴史公園として一般に公開する。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

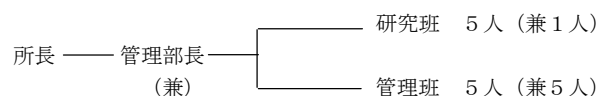
古代の多賀城に関連する県内の遺跡の発掘調査を実施して、多賀城を中心に展開された東北の古代史を多角的に解明する。

(4) 遺構調査研究事業

古代城柵官衙遺跡の資料を全国規模で収集し調査研究する。

2 組織・予算

(1) 組織



なお、当研究所では第8-9表の学識経験者からなる多賀城跡調査研究委員会を組織し、その指導・助言を得ながら各事業の推進を図っている。

氏名	職	専門分野
委員長 須藤 隆	東北大学名誉教授	考古学
副委員長 今泉 隆雄	東北大学大学院教授	古代史学
委員 飯淵 康一	東北大学大学院教授	建築史学
〃 鈴木 三男	東北大学教授	植物学
〃 佐藤 信	東京大学大学院教授	古代史学
〃 田辺 征夫	独立行政法人奈良文化財研究所長	考古学
〃 近江 隆	東北大学名誉教授	都市工学
〃 平川 南	国立歴史民俗博物館長	古代史学
〃 進士五十八	東京農業大学教授	造園学

(2) 予算

ア 多賀城跡発掘調査事業費	11,447千円
イ 多賀城跡環境整備事業費	8,084千円
ウ 多賀城関連遺跡発掘調査事業費	2,846千円
(以上、50%国庫補助事業)	
エ 多賀城跡発掘50年事業	1,893千円
オ 遺構調査研究費	100千円
カ 管理費	275千円

3 平成22年度事業の概要

(1) 多賀城跡発掘調査事業

平成22年度は多賀城跡発掘調査第9次5カ年計画の2年次目にあたり、伊保石地区において第82次調査を実施した。発掘調査面積は合計580㎡、調査期間は平成22年5月12日～平成22年11月22日である。総事業費は11,447千円(50%国庫補助)である。

ア 第82次調査の目的

第82次調査は外郭施設の本報告書作成に向けたデータ収集を目的として外郭東辺の伊保石地区の調査を実施した。

イ 第82次調査の成果

外郭東辺の中央付近で奈良時代の築地塀基底部が残存することを確認し、これに取り付く八脚門と櫓跡を新たに発見した。また、10世紀代の礎石式建物跡、11世紀後半の土器埋納遺構、時期不明の石敷きなどを発見した。

ウ 第82次調査の意義

これまで知られていなかった奈良時代の八脚門と櫓跡が新たに発見されたことにより、奈良時代外郭東辺施設の変遷がより複雑であることが明らかになった。また、10世紀代の礎石式建物跡や、11世紀後半の土器埋納遺構が発見されたことで、これまで不明確であった摂関・院政期の多賀城の様相が明らかになってきた。

(2) 多賀城跡環境整備事業

平成22年度は第9次5カ年計画の初年度にあたり、「政庁地区再整備」の一環として、西脇殿・西楼の平面表示に関わる復元基壇・礎石の設置工事をおこなった。総事業費8,084千円(国庫補助50%)である。

(3) 多賀城関連遺跡発掘調査事業

平成22年度は第8次5カ年計画の2年次目にあたり、前年に引き続き色麻町教育委員会の共催を得て色麻町日の出山窯跡群F地点の第3次発掘調査を実施した。発掘対象面積2,000㎡、発掘調査面積375㎡で、総事業費は2,846千円(50%国庫補助)である。

ア 調査の目的

昨年度の予備調査で窯跡が確認されていたF地点丘陵東側斜面の様相を把握するための調査を実施した。

イ 調査の成果

調査の結果、丘陵東斜面で窯跡4基のほか、土坑・溝を検出し瓦・須恵器が出土した。

ウ 調査の意義

第8-9表 多賀城跡調査研究委員会委員名簿

今回の調査によりF地点北側の窯跡分布の実態を確定することができた。出土した瓦類の特徴から、東斜面と西斜面では時期が異なり多賀城創建期でも、東側が古い段階、西側が新しい段階の窯跡が分布していることがわかり、窯跡群の操業時期とその変遷が明らかになり、F地点の重要性が確認された。この成果をもとに国指定史跡追加に向けた準備が進められることになる。

(4) 多賀城跡発掘50年事業

特別史跡多賀城跡附寺跡は、昭和35(1960)年に調査を開始して以来、今年で丁度50年目を迎えた。この機会に、これまで蓄積してきた多賀城跡に関わる調査研究成果を広く紹介し、その価値と魅力を周知するとともに、宮城県を誇る文化財である多賀城跡の重要性を全国に発信する目的で、以下のイベントを主催もしくは共催の形で開催した。

ア 多賀城跡調査50周年記念フォーラム

「よみがえる北の都～多賀城に生きた人びと～」

【日時】平成22年9月23日(木・祝)13:00～16:00

【会場】多賀城市文化センター 大ホール

【参加人数】907人

【主催】多賀城跡調査研究所・東北歴史博物館

多賀城市・多賀城市教育委員会・河北新報社

【概要】基調講演「北の炎」高橋克彦氏(作家)

パネルディスカッション「多賀城に生きた人びと」

イ 木簡学会多賀城特別研究集会

「古代東北の城柵と木簡」

【日時】平成22年9月3日(金)・4日(土)

13:15～17:00・9:30～15:30

【会場】東北歴史博物館3階講堂ほか

【参加人数】237人

【主催】木簡学会・多賀城跡調査研究所・東北歴史博物館

【概要】遺跡見学会・研究集会

ウ 特別史跡多賀城跡調査50周年記念

講演会・シンポジウム「多賀城と大宰府」

【日時】平成22年9月5日(日)13:00～17:00

【会場】東北歴史博物館3階講堂

【参加人数】520人

【主催】東北歴史博物館・多賀城跡調査研究所

【概要】記念講演・公開討論

エ 特別史跡多賀城跡調査50周年記念特別展

「多賀城・大宰府と古代の都」

【期間】平成22年9月4日(土)～10月24日(日)

【主催】東北歴史博物館

【共催】多賀城跡調査研究所・多賀城市

多賀城市教育委員会・河北新報社・NHK仙台放送局

(5) 収蔵庫整理事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連遺跡の発掘により出土した出土遺物量は、整理箱で総数20,000箱を超えている。緊急雇用創出事業の一環で、これらを収納している浮島収蔵庫内の整理作業をおこなった。

(6) 木簡及び墨書土器集成事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連遺跡の発掘による出土遺物の集成作業の一環として、緊急雇用創出事業を利用して木簡及び墨書土器集成作業をおこなった。

(7) 発掘資料デジタル化事業

これまで多賀城跡調査研究所が実施してきた多賀城跡及び、関連遺跡の発掘調査で作成した図面類を、緊急雇用創出事業を利用してデジタル化する作業をおこなった。

(8) 遺構調査研究事業

本年度は大崎市新田柵跡推定地・大吉山窯跡群、栗原市伊治城跡、東松島市赤井遺跡、涌谷町城山土塁跡、丸森町堂平廃寺跡、島根県出雲国府跡の調査データを収集し、比較検討した。

(9) 特別史跡多賀城跡附寺跡の現状変更申請への対応

当研究所では、特別史跡内の遺構と歴史的景観の保護に努めている。然し、やむなく特別史跡内の現状を変更するにあたっては、申請者及び関係機関と遺跡保護のために慎重な協議を行い、遺跡への影響がない範囲で最小限の現状変更に伴う調査を行っている。平成22年度における現状変更申請は11件あった。このうちの4件については掘削を伴う工事であるため、確認調査を実施し、7件については史跡への影響は軽微であると判断されたため工事立ち会いとした。

(10) その他

ア 現地説明会の開催

発掘調査の成果を一般の方々に公開するために、下記の現地説明会を開催した。

① 日の出山窯跡発掘調査現地説明会

平成22年7月17日 吉野 武・廣谷一也

② 多賀城跡第82次調査

平成22年10月23日 古川一明・三好秀樹

イ 各委員会などへの協力

阿部博志 多賀城跡第3次保存管理計画策定委員会委員
多賀城市文化財保護委員会委員
多賀城市環境審議委員
史跡伊治城跡調査整備指導委員
亘理町三十三間堂官衙遺跡調査検討委員会委員
角田市角田郡山遺跡発掘調査指導委員
古代城柵官衙遺跡検討会代表世話人
秋田県弘田柵跡保存管理計画策定指導委員
秋田市秋田城跡環境整備指導委員
盛岡市志波城跡史跡整備委員

ウ 発掘調査・講演会などへの協力

古川一明
「多賀城の概要」高校初任者研修会
宮城県教育研修センター平成22年8月4日

古川一明
「多賀城の概要」宮城県新任事務職員研修会
東北歴史博物館大会議室 平成22年8月10日

阿部博志
「多賀城の概要」小中特別支援学校初任者研修
東北歴史博物館講堂 平成22年8月17日

古川一明
「多賀城の概要」黒川郡小中学校社会科教員研修会
東北歴史博物館大会議室 平成22年8月18日

吉野 武
「多賀城跡調査の最前線」多賀城跡調査50周年記念講演会
東北歴史博物館講堂 平成22年9月5日

古川一明
「多賀城政庁跡研究の新知見」文化財研修
福島県文化財センター白河館 平成22年9月25日

吉野 武
「日の出山窯跡F地点発掘調査成果発表会」
色麻町農業伝習館 平成22年11月14日

吉野 武・廣谷和也

涌谷町城山裏土塁跡の発掘調査協力

平成22年11～12月

古川一明

丸森町堂平廃寺跡の調査協力

平成22年12月5日

三好秀樹

「多賀城跡第82次調査の概要」

平成22年度宮城県遺跡調査成果発表会

亘理町郷土館 平成22年12月11日

廣谷和也

「日の出山窯跡群調査の概要」

平成22年度宮城県遺跡調査成果発表会

亘理町郷土館 平成22年12月11日

三好壯明

「多賀城跡の保存と環境整備」

平成22年史都多賀城歴史・観光講座

多賀城市中央公民館 平成23年2月16日

エ 研究発表・執筆など

三好秀樹

「発掘からわかった古代多賀城の姿」

特別史跡多賀城跡調査50周年記念特別展 展示解説書

平成22年9月4日

古川一明

「陸奥国府多賀城の終末」

特別史跡多賀城跡調査50周年記念特別展 展示解説書

平成22年9月4日

古川一明

「11～12世紀の陸奥国府と府中」

中世都市研究会 平泉大会 発表資料集 平成22年9月4日

吉野 武

「多賀城と城下の木簡」

木簡学会 多賀城特別研究会集 発表資料集

平成22年9月4日

廣谷和也

「多賀城跡の調査成果」

月刊 考古学ジャーナル no.604, 2010

平成22年9月30日

吉野 武

「宮城県日出山窯跡群の調査—F地点西斜面地区を中心に—」

『日本考古学』 第30号 平成22年10月15日

三好秀樹

「多賀城跡第82次調査速報」『いしぶみ』第36号

平成22年11月25日

三好秀樹

「多賀城跡第82次調査の概要」

第37回古代城柵官衙遺跡検討会資料集

平成23年2月26日

廣谷和也

「日の出山窯跡群調査の概要」

第37回古代城柵官衙遺跡検討会資料集

平成23年2月26日

古川一明

「陸奥国城柵の終末」

第 37 回古代城柵官衙遺跡検討会資料集 平成 23 年 2 月 27 日

オ 連携大学院

東北大学大学院文学研究科長と宮城県多賀城跡調査研究所長の協定に基づき、文学研究科文化財科学専攻の大学院生の研究と指導にあたった。

阿部博志（客員教授）・古川一明（客員准教授）

・文化財科学研究実習 I 「古代遺跡調査の方法と実践」

カ 研究成果刊行物

『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2010

-多賀城跡第 82 次調査-』

平成 23 年 3 月

『日の出山窯跡群Ⅲ』多賀城関連遺跡調査報告書第 36 冊

平成 23 年 3 月

『宮城県多賀城跡調査研究所資料Ⅱ 多賀城跡木簡Ⅰ』

平成 22 年 3 月

『多賀城跡－発掘のあゆみ2010－』